

2014年度計画

下記日程には一部予定を含みます。

3月	3月7日(金):2014年度事業計画説明会開催(企業・団体向け) 大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の事業計画説明
4月	上旬:受入依頼状等を企業・団体に発送 インターンシップ研修生受入の可否及び インターンシップ受入プログラム合同説明会参加の有無について照会
5月	5月7日(水):受入可否・合同説明会参加可否回答締切 上記送付書類(アンケート等)の回答締め切り
6月	6月7日(土):合同説明会開催(9:00-17:00) 6月下旬:各大学から企業・団体へインターンシップ研修申込書発送
7月	7月2日(水)~14日(月):企業・団体の学生面接 学生の研修希望先での面接
8-9月	インターンシップ研修
9月	上旬:研修先企業・団体にアンケート送付
11月	下旬:拡大懇談会開催

各大学インターンシップ連絡先				
愛媛大学	松山大学	松山東雲女子大学 松山東雲短期大学	【2014年度事務担当校】 聖カタリナ大学	
教育学生支援部 就職支援課 (担当/日野)	教務部教務課 (担当/西村・清水)	学務部 キャリア支援課 (担当/藤田)	学生部就職課 (担当/新名)	
〒790-8577 松山市文京町3番 tel.089.927.9164(直) fax.089.927.9181 www.ehime-u.ac.jp/	〒790-8578 松山市文京町4-2 tel.089.926.7137(直) fax.089.923.8920 www.matsuyama-u.ac.jp/	〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1 tel.089.913.2610(直) fax.089.931.6402 www.shinonome.ac.jp/	〒799-2496 松山市北条660 tel.089.993.0731(直) fax.089.993.0717 www.catherine.ac.jp/	

編集・発行 / 大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会
制作 / NPO法人えひめ中小企業支援協会

〒791-8057 松山市大可賀2-1-28 アイテムえひめ
tel.089.968.3112 fax.089.968.3107

インターンシップ・プログラム 実施報告書

2013 Internship Program Report



ごあいさつ

2013年度のインターンシップ研修実施のお礼と来年度の取り組みへの協力のお願い

大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会 2013年度部会長 市川 正彦
(松山大学インターンシップ教育実施委員会委員長)

地域の企業・団体の皆様には、日頃から大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の活動に多大なご支援を賜り、ありがとうございます。特に学生の研修受入にはご理解・ご協力を頂き、この場をお借りして心から感謝申し上げます。本年度は、従来の愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学に、聖カタリナ大学を加え、5大学からインターンシップ研修へと学生を送り出しました。研修生の総数は、昨年度を大きく上回り、398名を超えることとなりました。受入先の企業・団体様には、これら多数の学生をご指導いただき、インターンシップ研修を無事に終えることができました。重ねてお礼申し上げます。

インターンシップ部会は当初から主に次の6つの目的を持って活動しております。すなわち、①県内企業・自治体への意向調査 ②インターンシップの統一スケジュール・ルールの作成 ③企業・自治体と学生とのマッチングの実施 ④地域内インターンシップを希望する学生の選抜・調整 ⑤企業・自治体等との定期的な懇談会の実施 ⑥インターンシップカリキュラムの開発・検討です。この間、皆様のご協力もあり、順調に取組を進めていくことができました。今後も受入先の皆様と連携大学と共に、より緊密に連携をとりながら地域のキャリア教育体制の整備に取り組みたいと考えております。

学生たちのインターンシップに対する感想を見ますと、「働く」ということや「社会人」というものに対して実感を持つ貴重な機会となっているようです。また、自分自身を振り返るきっかけともなっており、これを契機に、その後の学生生活を前向きに送っているというような新たな意欲を、多くの学生たちが抱いたことが感じられます。

インターンシップ部会では、来年度以降も愛媛のインターンシップをますます充実したものに成長させることができるよう、より一層の質的向上を図っていきたいと思います。今後とも、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いします。

これまでの経緯



1990年代初頭にバブル経済が崩壊して以後、「失われた10年」はこれまでの日本型システムの多くを変容させ、特にその当時、新卒学生の就職状況が悪化する中で、フリーター・ニートといった若者雇用問題が大きな社会問題となっていました。

そのような中、1997年9月、当時の文部省・通商産業省・労働省の三省は合同で「インターンシップの推進に当たっての基本的な考え方」を発表しました。在学中に就業体験を行うというこれまでの学校教育にはない新しい取り組みが政策レベルで模索され始め、今日では多くの高等教育機関でその実践が展開されています。

愛媛県内の高等教育機関でも独自にインターンシップを教育課程に取り入れてきましたが、無差別な受入要請が地域におけるマッチング秩序を混乱させるという事態が発生しました。2003年、受入先等の要望もあり、愛媛県中小企業家同友会の協力を得て、県内4大学（愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学）が中心となり地域における大学生のインターンシップを統一的に運営するため、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」が設立されました。

2009年には、愛媛県内で大学コンソーシアムができ、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」は「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」へと移行しました。しかし、設立当初からの目的や地域の各組織との連携関係を変えることなく、2013年度からは聖カタリナ大学も加え、5大学で発展的に事業を展開しています。



インターンシップへの取り組み

愛媛大学

愛媛大学は「学生が入学から卒業・修了まで安心して充実した大学生活を送ることができる学生支援体制を築く」ことを大学憲章で謳い、また「地域にあって輝く大学」を創ることを大学の理念としています。

法人化以後は、キャリア教育を単なる就職支援の問題ではなく、人生の新しい段階（社会）へと移行する若者の成長を支える教育として捉え、教育改革を行ってきました。インターンシップは、その中核的な取り組みであり、2003年の愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会の発足以後、その取り組みには毎年150人前後の学生を送り出し、これまで累積で1500人以上の学生にインターンシップを経験してもらいました。

その効果は、本学が独自に行なった卒業予定者調査からも明らかになってきました。近年の卒業予定者調査から確認された事実は、インターンシップを受講した学生の方が受講しなかった学生より就職活動の準備を入念に行なう。当然ながら、就職活動の準備を入念に行なった学生の方がそうでない学生よりも就職活動の結果が良い、ということがわかりました。地域の企業・団体とともに築いてきたインターンシップの取り組みが学生の将来に大きな影響を持っていることは、何よりの成果といえます。

愛媛大学は、本年（平成25年）度より1回生の必修科目として「社会力入門」というキャリア教育科目を開講しました。これまで愛媛大学には全学部に共通のキャリア教育科目は存在しませんでした。「社会力入門」の開講を通じて、1人でも多くの学生をインターンシップへと誘うことを一つの目的としております。そして前述の通り、インターンシップは社会へと移行する学生の成長を支える中心的教育であり続けます。より明確な目的を持った学生を送り出せるよう全学で取り組みを始めました。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

松山大学

松山大学におけるインターンシップの取り組みは、経営学部において1995年に学生自らが研修受け入れ先と受け入れ交渉を行い、職場研修を行う方式により開始されました。また、経済学部では1998年に愛媛県中小企業家同友会と西四国観光ネットワーク「るーらるばけっと」の会員企業を中心とした研修受け入れ先に学生を派遣し職場研修を行う方式により開始され、その後制度が統合され、2002年度からは文系学部すべてで実施される全学部共通のプログラムになりました。

さらに、これまで「共通教育科目」の1つであったインターンシップ関係科目が、2012年度からは独立した「キャリア教育科目」として位置づけられ、大学の教育活動の中で、ますます重要なものとなっています。

本学のプログラムは、前期に事前講義として「インターンシップ活用I」（全15回の講義）、夏季休暇期間を利用した「インターンシップ研修」（実働30時間以上、もしくは実働60時間以上の実務研修）、さらに後期に事後講義として「インターンシップ活用II」（全15回の講義）という形で実施しております。

松山大学では、2013年度、183名の学生が「インターンシップ研修」を行いました。毎年、研修を受けた学生の代表による研修報告会を開催するとともに、各受け入れ先の研修報告を冊子にまとめ、その成果を公開しています。このような教育活動が可能となっているのも、ひとえに研修生を受け入れてくださる事業所・団体があったからこそあります。インターンシップにご協力いただきました皆さんに心より感謝申しあげますとともに、今後の変わらぬご支援をお願いいたします。

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

本学では、2003年度より女子大学および短期大学でキャリアサポートセンターを中心にインターンシップ研修を進めて参りました。現在はキャリア支援課において、インターンシップ研修や低学年からのキャリア教育、就職活動に至るまで一貫して支援を行う態勢を整え、昨年度からは文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択され、「仕事力玉成プロジェクト」として様々な事業にチャレンジしています。産業界ニーズに応える「汎用的能力」について愛媛県内企業等を対象としたアンケートを実施し、在学生・卒業生の実態調査と合わせて分析し、一步踏み出すためのプログラムを開発しています。

また、大学の授業では、職業について考える「キャリア論」や「ビジネスコミュニケーション」などの科目を配置し、研修の事前教育として「マナー研修」なども実施しております。また短期大学では、カリキュラム全体を通して職業に直結する教育を展開し、中でも秘書科は、1年生で「プレ・ビジネスインターンシップ」、2年生では就職活動とともに「インターンシップ研修」に取り組みます。このような体験は学生にとって、「社会にふれる」貴重な体験であり、そのことによっての「気づきや振り返り」は大きな力となります。研修後の報告会では、すべての学生が、受入企業様の温かさや社会人としての責任の重さを実感し、自分なりの成長を報告してくれます。研修受入企業・団体の皆様には、学生の実態を見て頂くだけではなく、「働くことの意味・やりがい」などについてご指導賜りたく、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

聖カタリナ大学

聖カタリナ大学は、2013年度よりコンソーシアムえひめ主催のインターンシップに正式に参加させていただき、人間社会学科（2011年新設）の3年生29名をインターン生として送り出すことができました。

本学では、就職課が行っている全学的な就職支援の企画・講座に加え、「インターンシップ」（3年次前期開講、週1回、全15回）という授業の中で本研修の事前指導を行っています。授業の内容は、担当教員3名によるキャリア意識の形成や職業観に関する指導の他、マナー講習および就職活動等に関する外部講師のレクチャーを受けさせるなど、インターンシップ参加に必要な知識やノウハウの習得のためのプログラムを準備しています。研修終了後には、参加学生の提出した研修報告書をもとに学内で報告会を開催し、以後の就職活動につなげていくように事後指導も実施しております。

2013年度は、本学の研修への参加が1年目ということで、スタッフ・学生ともに緊張や不安が見られましたが、参加学生のようすを見てみると、合同説明会や研修現場で他大学の学生から刺激を受けたり、職場にて働くことの厳しさや責任の重さを実感したりすることを通じて参加学生が成長していく様を見て取ることができました。この研修において、各学生が今後就職活動を行い社会に出ていくにあたっての課題や自らの方向性について考える格好の機会をいただくことができました。

昨年に本学学生を受け入れて下さった事業所のみなさまには心より御礼を申し上げるとともに、2014年度のインターンシップ研修におきましても引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

2013年度インターンシップ研修報告

今年度も県内5大学に在籍するたくさんの学生が参加し、インターンシップ研修が行われました。受け入れ企業向けの事業計画説明会を始め、年間を通じた研修事業の状況をご報告いたします。



事業計画説明会

今年度の事業を始めるにあたり、受け入れを検討している企業や団体等に向け、事業の方針やプログラムを説明しました。

合同説明会

愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、聖カタリナ大学に在籍する500名余りの学生が参加。受け入れを表明し、説明会に参加した企業や団体のプレゼンテーションを受けた後、思い思いに個別面談ブースをまわって研修内容の説明などを受け、熱心に質問をしていました。



拡大懇談会

その年度のインターンシップ事業を総括するため、毎年この時期に開催。今年度は研修生を受け入れていただいた22企業・団体のご担当者にお集まりいただき、より活発な意見交換をするため、大学関係者も交えたワールドカフェ形式で実施。忌憚のないご意見をいただき、次年度の事業をさらに充実させるよい機会となっています。



3/7
木

インターンシップ受入プログラム合同説明会への参加の有無とインターンシップ研修生受入プログラム内容に関するアンケート送付

4月
下旬

アンケート等の締め切り
5月初旬

6/1
土

各大学から学生の研修申込書を研修希望先へ送付

6月
下旬

研修希望先での面接
7月下旬

8月～
9月

インターンシップ研修
(5大学合計398名が
83の企業・団体で研修を受ける)

9月
下旬

インターンシップ研修生受入企業へのアンケート
(回収数79／配付数102)

11/28
水

参加者の声



愛媛大学
工学部応用化学科 3年

漆原 奈帆

【研修先】株式会社地域法人 無茶々園



私は今回の研修で、生き生きと楽しそうに仕事をしている皆さんから、働くことの意義、やり甲斐を感じることができました。自分一番やりたいことを職業にできる人は一握りしかいないし、もちろん、やりたいことができるとは限らないと思います。しかし、の中でも自主的に動いたり意見を出したりして、やり甲斐を見いだすことは可能だと思うので、私は向上心を持って仕事に臨みたいと思います。

また、初めての農作業で食物を作ることの大変さを身をもって感じて、ありがたさを改めて感じました。研修先の無茶々園では、果樹・野菜などを無農薬で育てているので余計に天候や動物と闘っています。農薬が安全と言い切れるものではないことを知ったので、少し値段が高くても有機野菜を買ってみようと思います。

研修先では、様々な貴重な体験をさせていただき、参加して良かったと強く思います。



松山大学
経済学部経済学科 2年

坂 深雪

【研修先】八幡浜みなとみなと交流館(港まちづくり八幡浜)

「2年生の夏は目的意識を持って過ごそう」という思いから、インターンシップへの参加を決意しました。説明会で道の駅「八幡浜みなと」の方の話を聞いて、以前から興味を抱いていた「街づくり」のヒントを得て受け入れを希望しました。研修期間は10日間で、私の他にも5人の学生が参加しており、共同作業でサイクルマップ作製を担当しました。私は研修中、研修目標である「人に流れない」「受け身からの脱却」を常に念頭に置いて行動しました。そして、何事にも積極的に行動するうちにいつの間にかチームの先導に立ち、人に指示を出す立場になっていました。このことは自分が一番驚いています。自ら行動を起こすことで得られるものがたくさんあるということを学び、これからはもっと様々なことに挑戦していくことを思えるようになりました。インターンシップを通じて、今後の自分の方向性が定まったように感じます。貴重な思い出も作ることができ、その時の参加者との絆は今もずっと続いている。

松山東雲短期大学
秘書科 2年

岡本 りか

【研修先】松山赤十字病院

インターンシップに行くまでは、働くのは、「自分や家族の生活のため」や「社会に貢献していく」といった生活を送るためであると考えており、社会に貢献するといつても具体的にはよく分かっていませんでした。しかし、貴院で5日間のインターンシップをさせていただき「働くこと」や「社会人になること」の考え方方が変わりました。

松山で生まれ育った私は、今日までの約20年間、家族だけでなく、たくさんの地域の人々に支えられて生きてきました。このような経験の中で、今度は私が、社会人として地域の人を支える一員となり、恩返しをしていきたいと強く思いました。また、お世話になったたくさんの人々が痛い思いや辛い思いをして病院に来られた時、少しでも不安や恐怖心を減らし、安心して笑顔になれるような対応のできる医療秘書となって地域に貢献したいと改めて思うようになりました。

聖カタリナ大学
人間健康福祉学部 人間社会学科 3年 黃前 聖羅

【研修先】社会福祉法人松山市社会福祉事業団松山市久枝障害者生活介護事業所

今回の研修で、仕事に対する見方が変わりました。仕事は生活をするために取り組むものだという漠然とした考えでしたが、研修先の皆様は安全面や衛生面に気をつけながら、本当に楽しそうに仕事をなさっていました。笑顔が多くて、とても温かい環境でした。私は福祉を専門に学んでおらず、とても不安でしたが、職員の方に丁寧に教えていただき、すぐに不安はなくなりました。また、利用者の方に自分から積極的に接するよう心がけていると、いつのまにか利用者の方から話しかけてくださることが多くなっていることに気づいて、自然と笑顔になっていました。

今回の研修で、今何を求められているか、どうすべきかを考えて動き、利用者の方に喜んでいただけると、嬉しさで胸がいっぱいになる自分がいました。この経験から、人を見る大切にして、仕事に対する真摯さを持つ社会人になりたいと考えました。研修先の皆様、本当にありがとうございました。



研修生受け入れ企業担当者アンケート集計結果から

今後のインターンシッププログラムをより良くしていくため、平成25年度にインターンシッププログラムに参加して頂いた102の団体・事業所の担当者に対して平成25年9月にアンケートを行い、79件の回答を得ました。

インターンシップ研修生を受け入れて得られた効果について、8割以上の団体・事業所は、学生の就業意識が向上、指導した社員が成長し、職場の活性化に繋がったことや自社の認知度が高まったこと等を感じていることがわかります。しかし、学生の意見や提案が職場改善につながったり、新卒採用の基本指針作成に役立っているという点については、「あてはまる」という回答が38%に留まっています。

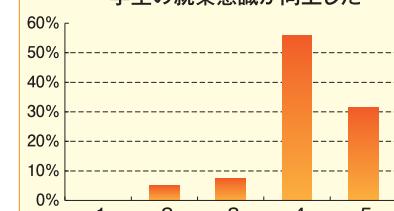
企業におけるインターンシップの効果は、今回のアンケート結果からみても、導入におけるメリットとして挙げられる、「企業の認知度・PR効果」や「社員のマネジメント能力向上・職場の活性化等の社内への影響」については実感されているのに対して、「学生の斬新な意見や提案を事業や改善などに取入れること」、「大学等との接点が増え、連携や交流が深まること」や「ミスマッチ防止等の新卒採用に関する業務」については、まだまだインターンシップのメリットが十分に發揮されてなく、プログラムの作成において企業のニーズを取り入れていくことが更に必要であると思います。また、学生の基本的な社会人マナーや主体的な行動の欠如を指摘する意見もあり、企業へ送り出す学生への教育についてもさらに検討する必要があると考えています。



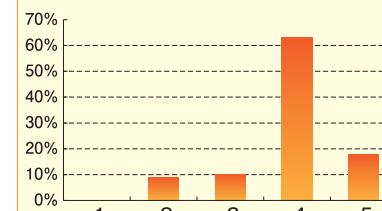
Qこれまでインターンシップ研修生を受け入れて得られた効果について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 全くあてはまらない
- 2 あまりあてはまらない
- 3 どちらともいえない
- 4 少少あてはまる
- 5 非常にあてはまる

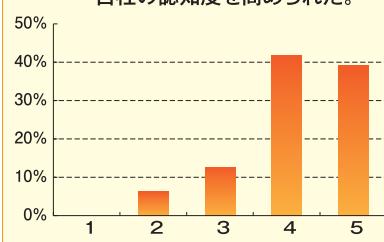
① インターンシップを通して学生の就業意識が向上した



② 指導にあたった社員が成長した。



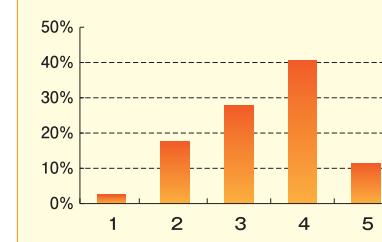
③ 大学や学生に自社の認知度を高められた。



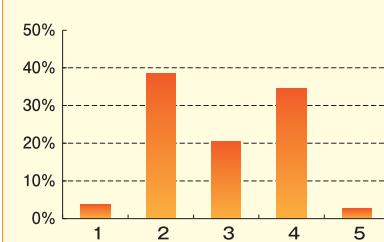
④ インターンシップ研修生を受け入れたことで職場が活性化した。



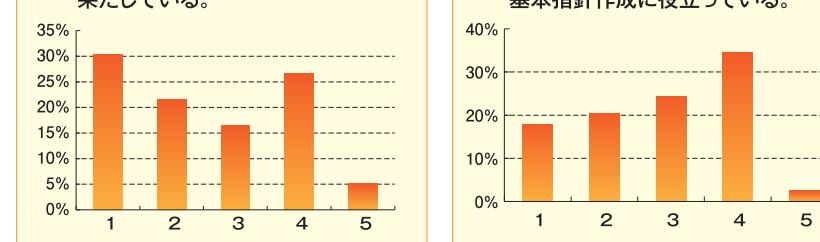
⑤ 5大学(愛媛大学・松山大学・松山東雲大学・松山東雲短期大学・聖カタリナ大学)との交流が深化した。



⑥ 学生の意見や提案が職場の改善につながった。



⑦ インターンシップ研修生の受入れは、繁忙期の人員確保の役割を果たしている。



⑧ インターンシップ研修生の受入れは、来年度以降の新卒採用の基本指針作成に役立っている。



受入企業・団体一覧 (順不同)

1 株式会社アール・シー・フードパック	43 摂陽明正株式会社
2 有限会社アイン	44 ダイキ株式会社
3 あけはまシーサイドサンパーク株式会社	45 株式会社ダイキアクシス
4 アビリティーセンター株式会社	46 太陽石油株式会社
5 株式会社アペ(KIZUNAグループ)	47 株式会社テレビ愛媛
6 今治市役所	48 東京海上日動火災保険株式会社
7 特定非営利活動法人いよココロザシ大学	49 東京第一ホテル松山 ハ紗開発株式会社
8 伊予市役所	50 トヨタL&F西四国株式会社
9 株式会社伊予鉄高島屋	51 トヨタカローラ愛媛株式会社
10 伊予鉄道株式会社	52 南海放送株式会社
11 株式会社ヴァンサンカン	53 NPO法人にいはま市民企画ノポック
12 株式会社ヴィンテージアイモク	54 新居浜市役所
13 株式会社内子フレッシュパークからり	55 ニンジニアネットワーク株式会社
14 株式会社愛媛FC	56 ネットトヨタ南国株式会社
15 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク	57 有限会社能力開発システム研究所
16 愛媛県	58 NPO法人俳句甲子園実行委員会
17 愛媛県司法書士会	59 濱田農園
18 公益財団法人愛媛県動物園協会(とべ動物園)	60 はるやま商事株式会社
19 株式会社愛媛CATV	61 株式会社ファースト・コラボレーション
20 国立大学法人愛媛大学	62 特定非営利活動法人ぶうしすても
21 えひめ中央農業協同組合	63 株式会社フジ
22 愛媛トヨタ自動車株式会社	64 二神塾
23 愛媛労働局	65 ベストケア株式会社
24 株式会社エフエム愛媛	66 株式会社ホテル椿館
25 有限会社遠藤青汁	67 株式会社ホテル八千代
26 株式会社尾崎設計事務所	68 特定非営利活動法人まちづくり支援えひめ
27 一般財団法人休暇村協会(休暇村 濱戸内東予)	69 公益財団法人松山市男女共同参画推進財団
28 株式会社共立メンテナンス(森の国ホテル)	70 社会福祉法人松山市社会福祉事業団 松山市久枝障害者生活介護事業所
29 霧の森(株式会社やまびこ)	71 松山市役所
30 こうち人づくり広域連合	72 松山赤十字病院
31 NPO法人こころ塾	73 松山総合開発株式会社 松山全日空ホテル
32 認定こども園 小羊園	74 学校法人松山大学
33 株式会社コモテック	75 松山地方法務局
34 株式会社コンベックス	76 松山ヤクルト販売株式会社
35 佐伯公認会計士事務所	77 株式会社マミーズ・ファミリー
36 西条市役所	78 株式会社三好鉄工所
37 佐川印刷株式会社	79 株式会社地域法人無茶々園
38 四季彩農園	80 八幡浜みなと みなと交流館(NPO法人港まちづくり八幡浜)
39 四国中央市役所	81 株式会社ユイ・システム工房
40 ジョブカフェ愛work(愛媛県若年者就職支援センター)	82 合資会社ワークショップco.松山
41 生活協同組合コープえひめ	83 NPO法人ワークライフ・コラボ
42 セーラー広告株式会社 愛媛本社	